

但馬の経済指標

令和8年1月～3月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より5.4ポイント悪化し、-7.4となった。

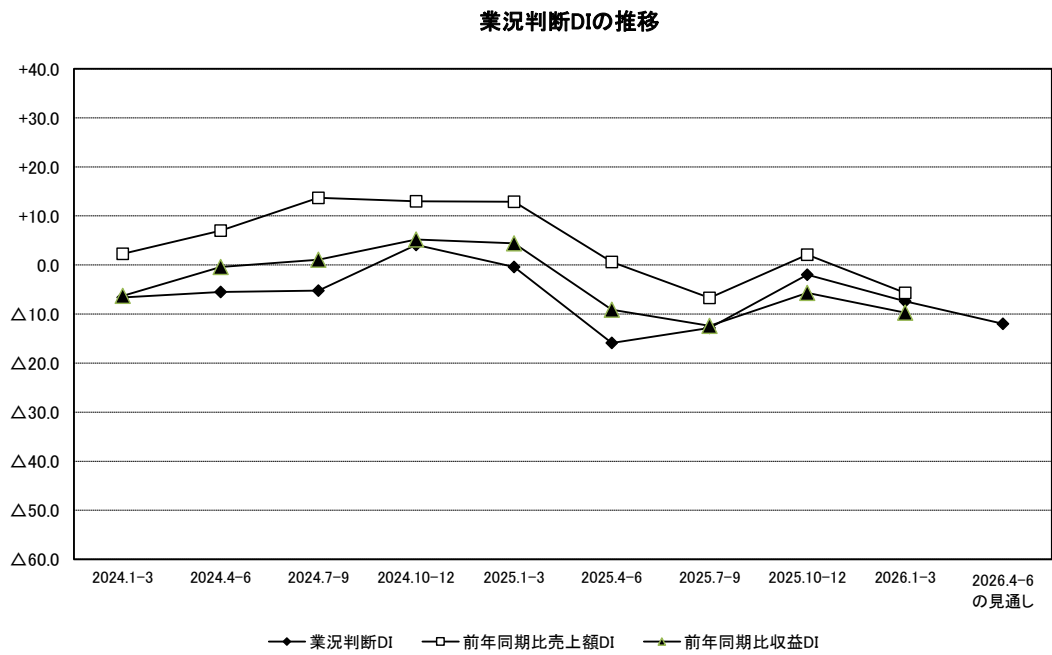
②有効求人倍率は、3月期1.23倍。前年同月と比べて0.39ポイント減少した。

		項 目	今期(1月～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	△ 7.4	△ 5.4	△ 7.0
2	雇用		3月	対前月(増減)	対前年同月(増減)
		有効求人倍率	1.23	△ 0.06	△ 0.3
			3月	前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	3,270	△ 1.45	△ 14.82
		有効求職者数(人)	2,652	＋ 3.11	＋ 5.41
		雇用保険受給者実人員(人)	574	＋ 0.17	＋ 45.69
3	金融		3月	前月比(%)	前年同月比(%)
		普通貸付残高(百万円)	10,302	△ 1.72	△ 9.36
			3月	前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	870	＋ 36.79	＋ 45.48
		信用保証債務残高(百万円)	48,353	△ 1.13	△ 8.04
4	公共工事		3月	前月比(%)	前年同月比(%)
		公共工事請負金額(百万円)	3,917	＋ 938.99	△ 3.85
参考	企業倒産(全県)		今期(1～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
		件数	154	△ 8	△ 4
		負債総額(百万円)	9,452	△ 9,165	△ 2,352
5	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益とも 変わらず。	売上高、生産量、収益とも 変わらず。

1 業況判断

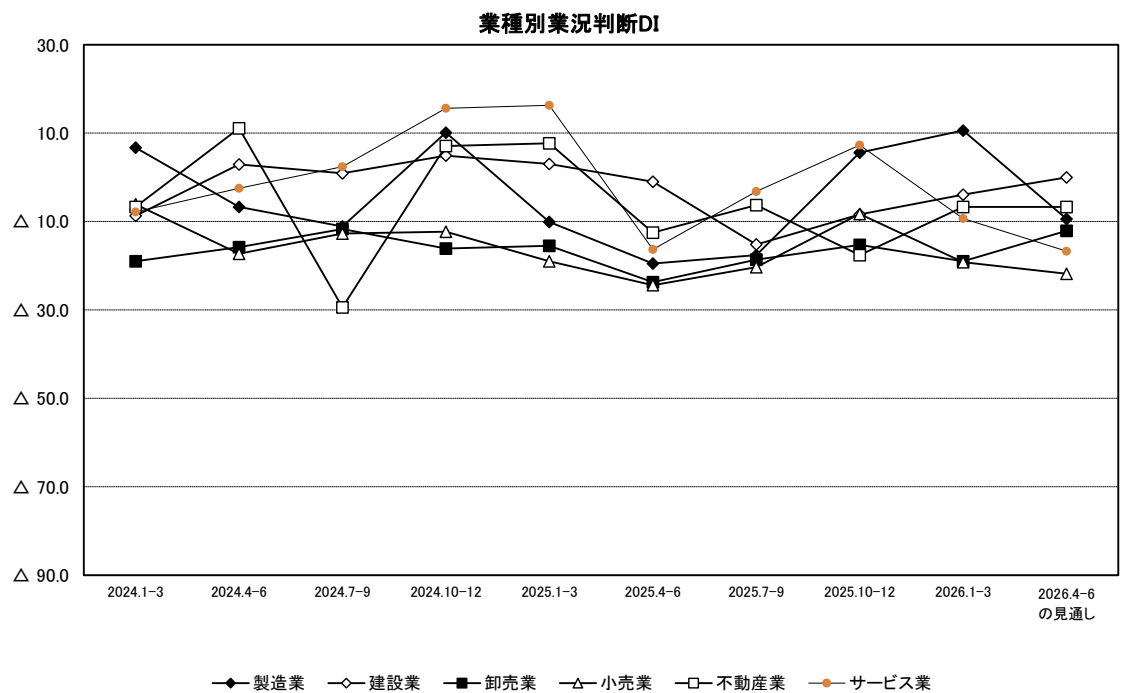
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より5.4ポイント悪化し、-7.4となった。
来期の見通しについては、業況判断DIが-12.0となる見通しである。
前年同期と比較した売上額DIは-5.7、同収益DIは-9.7となった。



	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6 の見通し
業況判断DI	△6.6	△5.5	△5.2	+4.1	△0.4	△15.9	△12.8	△2.0	△7.4	△12.0
前年同期比売上額DI	+2.3	+7.0	+13.7	+13.0	+12.9	+0.6	△6.7	+2.1	△5.7	-
前年同期比収益DI	△6.3	△0.4	+1.1	+5.2	+4.4	△9.1	△12.4	△5.7	△9.7	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

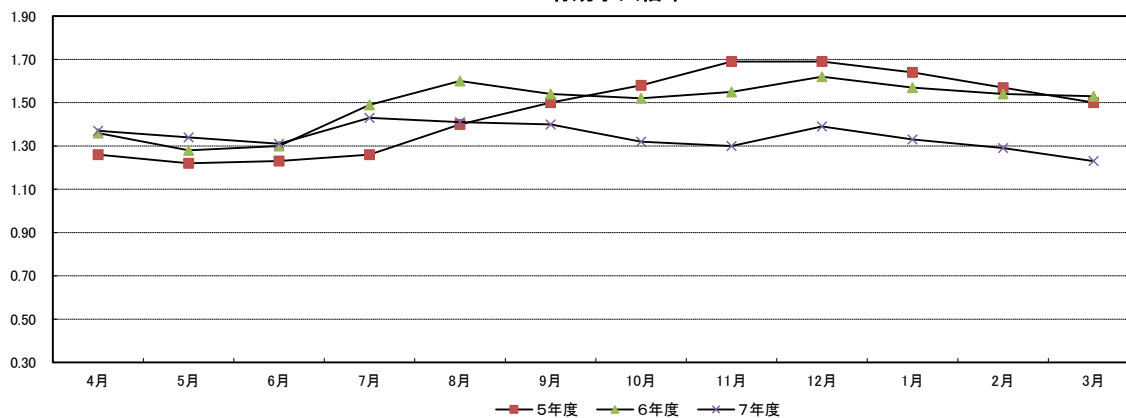


	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6 の見通し
製造業	6.7	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 10.1	△ 19.5	△ 17.6	5.6	10.6	△ 9.4
建設業	△ 8.7	2.9	0.9	4.9	3.0	△ 1.0	△ 15.2	△ 8.4	△ 3.9	0.0
卸売業	△ 19.0	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 15.5	△ 23.7	△ 18.6	△ 15.3	△ 19.0	△ 12.1
小売業	△ 6.1	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 19.0	△ 24.4	△ 20.3	△ 8.3	△ 19.2	△ 21.8
不動産業	△ 6.7	11.1	△ 29.4	7.1	7.7	△ 12.5	△ 6.3	△ 17.6	△ 6.7	△ 6.7
サービス業	△ 7.8	△ 2.5	2.4	15.6	16.3	△ 16.3	△ 3.2	7.3	△ 9.3	△ 16.7

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

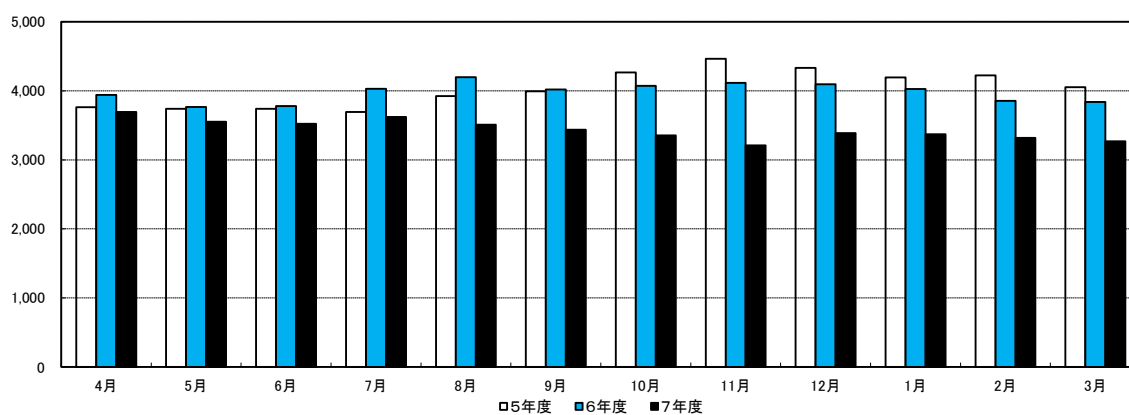
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62	1.57	1.54	1.53	1.49
7年度	1.37	1.34	1.31	1.43	1.41	1.40	1.32	1.30	1.39	1.33	1.29	1.23	1.34
対前月 (増減)	-0.16	△0.03	△0.03	+0.12	△0.02	△0.01	△0.08	△0.02	+0.09	△0.06	△0.04	△0.06	—
対前年 (増減)	+0.01	+0.06	+0.01	△0.06	△0.19	△0.14	△0.20	△0.25	△0.23	△0.24	△0.25	△0.30	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

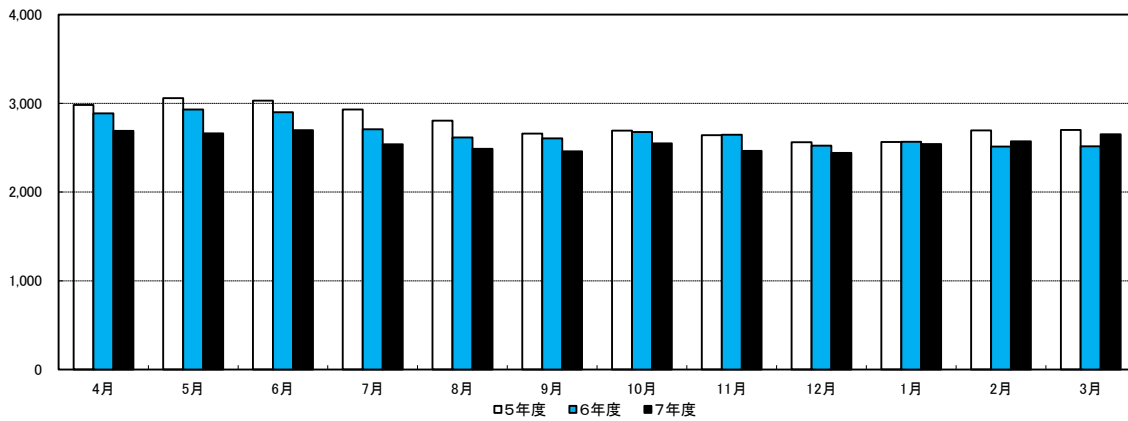
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096	4,026	3,856	3,839	3,978
7年度	3,692	3,553	3,522	3,622	3,509	3,435	3,354	3,208	3,387	3,371	3,318	3,270	3,437
前月比 (%)	△3.83	△3.76	△0.87	+2.84	△3.12	△2.11	△2.36	△4.35	+5.58	△0.47	△1.57	△1.45	—
前年同月 比(%)	△6.27	△5.63	△6.80	△10.12	△16.39	△14.53	△17.65	△22.00	△17.31	△16.27	△13.95	△14.82	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

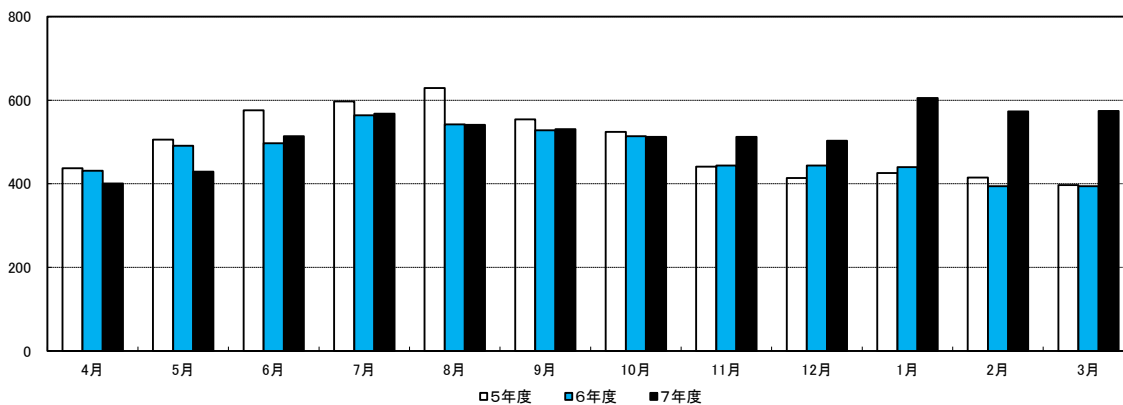
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523	2,567	2,512	2,516	2,674
7年度	2,690	2,660	2,696	2,538	2,487	2,459	2,549	2,465	2,442	2,541	2,572	2,652	2,563
前月比(%)	+6.92	△1.12	+1.35	△5.86	△2.01	△1.13	+3.66	△3.30	△0.93	+4.05	+1.22	+3.11	—
前年同月比(%)	△6.82	△9.25	△7.03	△6.28	△4.89	△5.57	△4.78	△6.88	△3.21	△1.01	+2.39	+5.41	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

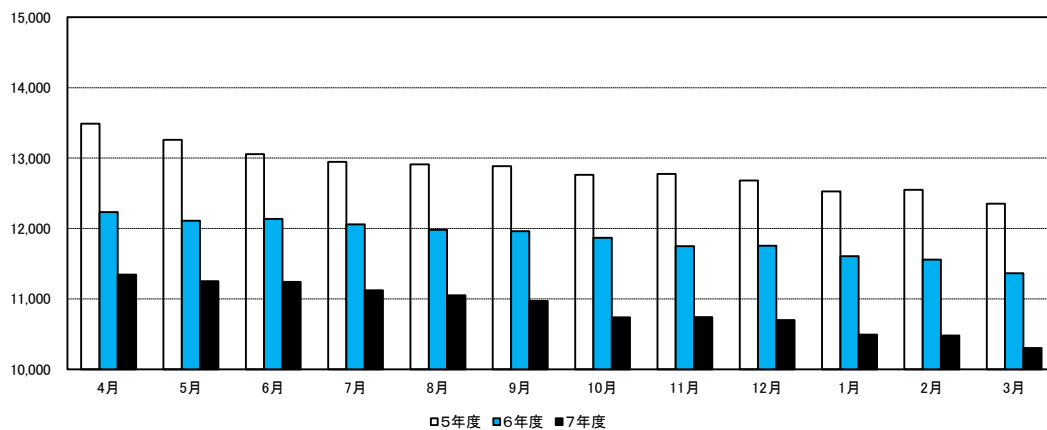


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444	440	394	394	474
7年度	401	429	514	568	541	531	512	512	503	605	573	574	522
前月比(%)	+1.78	+6.98	+19.81	+10.51	△4.75	△1.85	△3.58	0.00	△1.76	+20.28	△5.29	+0.17	—
前年同月比(%)	△6.96	△12.63	+3.42	+0.71	△0.18	+0.57	△0.39	+15.32	+13.29	+37.50	+45.43	+45.69	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

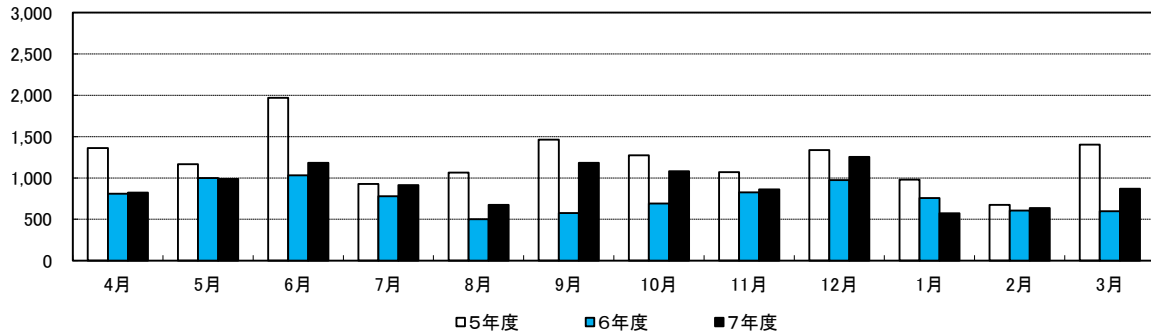
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756	11,608	11,558	11,366	11,866
7年度	11,345	11,251	11,242	11,124	11,051	10,970	10,738	10,742	10,701	10,493	10,482	10,302	10,870
前月比(%)	△0.18	△0.83	△0.08	△1.05	△0.66	△0.73	△2.11	+0.04	△0.38	△1.94	△0.10	△1.72	—
前年同月比(%)	△7.27	△7.09	△7.37	△7.76	△7.77	△8.30	△9.51	△8.58	△8.97	△9.61	△9.31	△9.36	—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

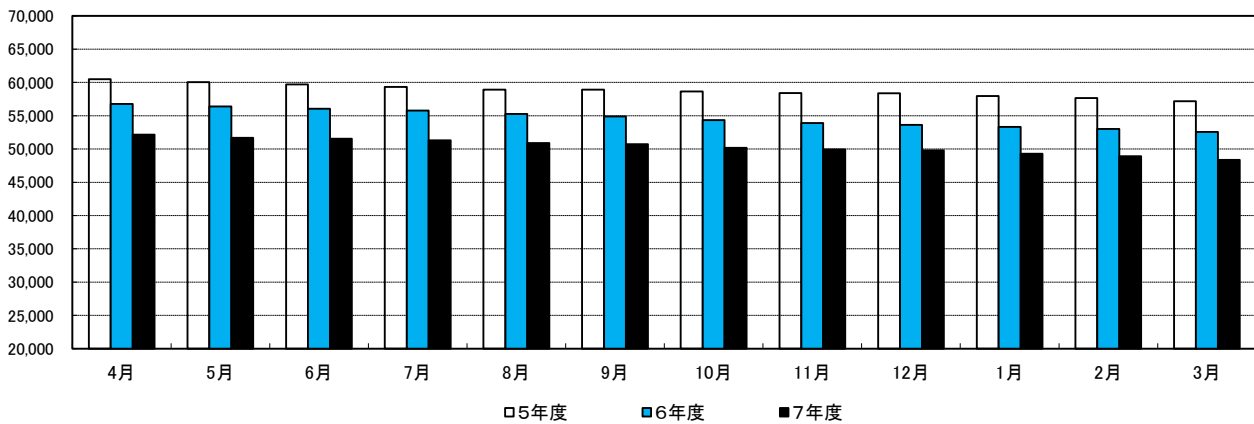
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975	756	606	598	762
7年度	823	989	1,182	913	674	1,184	1,081	862	1,255	572	636	870	920
前月比(%)	+37.63	20.17	+19.51	△22.76	△26.18	+75.67	△8.7	△20.26	+45.59	△54.42	+11.19	+36.79	—
前年同月比(%)	+1.6	△0.9	+14.42	+17.05	+34.53	+105.56	+56.67	+4.48	+28.72	△24.34	+4.95	+45.48	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

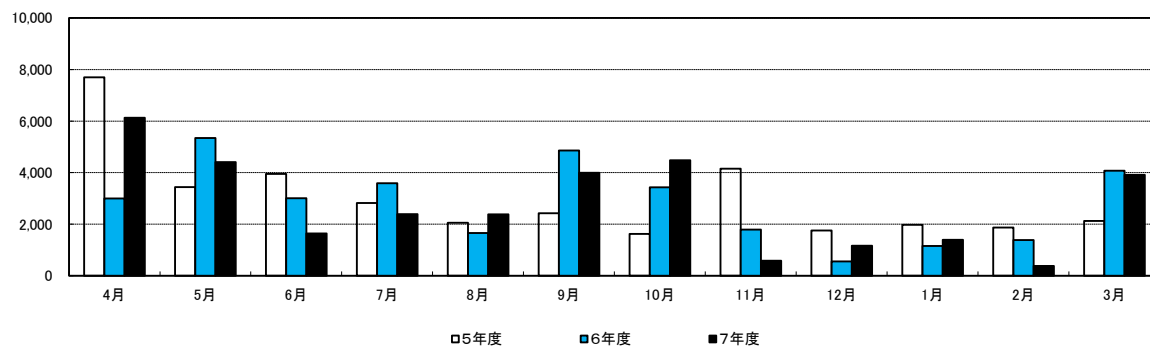


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624	53,308	52,996	52,579	54,656
7年度	52,166	51,668	51,555	51,300	50,881	50,736	50,185	49,934	49,790	49,291	48,904	48,353	50,397
前月比(%)	△ 0.79	△0.95	△0.22	△0.49	△0.82	△0.28	△1.09	△0.5	△0.29	△1.002	△0.79	△1.13	—
前年同月比(%)	△ 8.09	△8.39	△ 8.03	△ 8.04	△ 7.92	△ 7.54	△ 7.65	△ 7.35	△ 7.15	△ 7.54	△ 7.72	△ 8.04	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

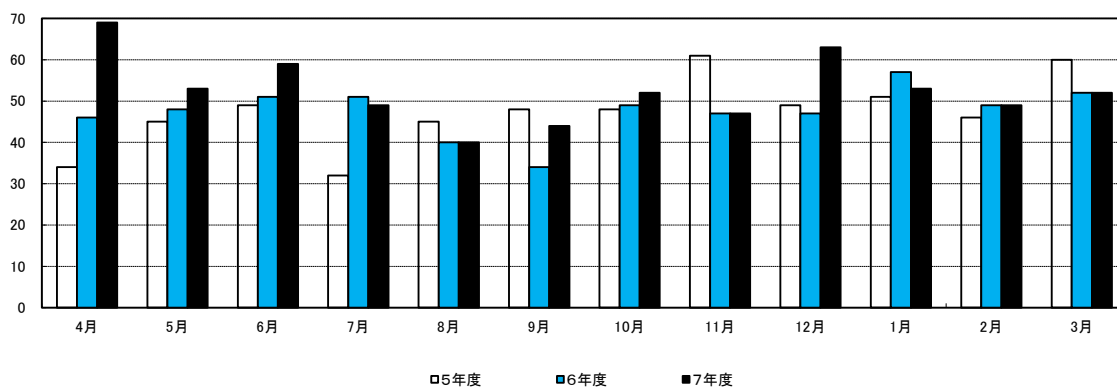


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556	1,156	1,381	4,074	2,821
7年度	6,124	4,405	1,644	2,389	2,378	3,994	4,482	584	1,167	1,392	377	3,917	2,738
前月比(%)	+50.32	△28.07	△62.68	+45.32	△0.46	+67.96	+12.22	△86.97	+99.83	+19.28	△72.92	+938.99	—
前年同月比(%)	+104.47	△17.56	△45.33	△33.49	+43.6	△17.85	+30.67	△67.45	+109.89	+20.42	△72.7	△3.85	—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

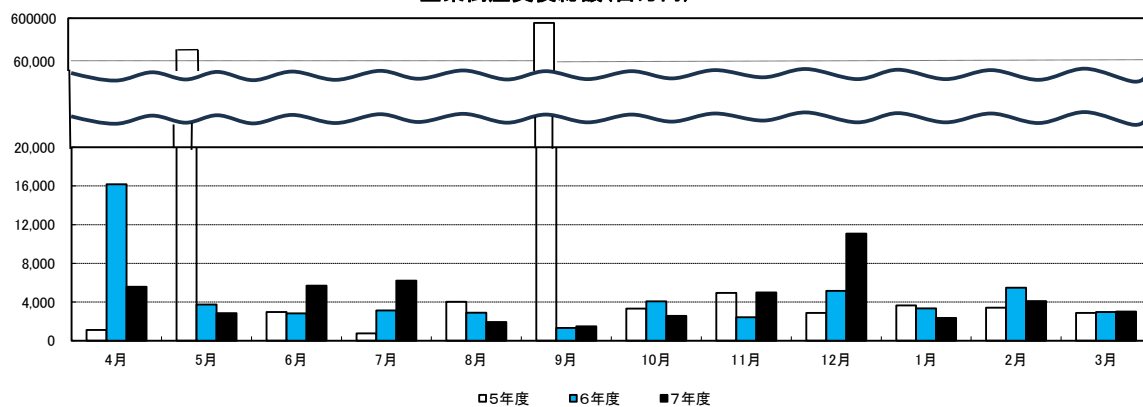
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49	51	46	60	568
6年度	46	48	51	51	40	34	49	47	47	57	49	52	571
7年度	69	53	59	49	40	44	52	47	63	53	49	52	630

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支店

企業倒産負債総額(百万円)



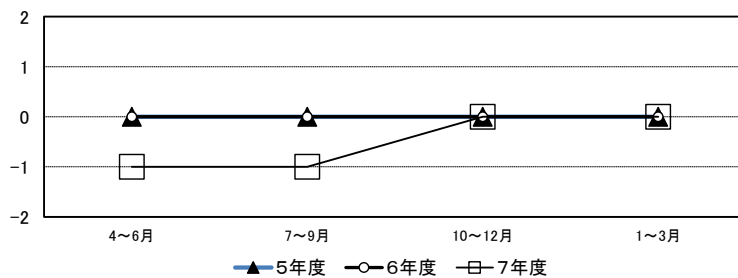
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869	3,658	3,412	2,878	680,839
6年度	16,168	3,731	2,823	3,128	2,906	1,326	4,073	2,431	5,155	3,348	5,484	2,972	53,545
7年度	5,565	2,858	5,693	6,215	1,937	1,479	2,562	4,983	11,072	2,351	4,092	3,009	51,816

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支店

5 地場産業(豊岡かばん)

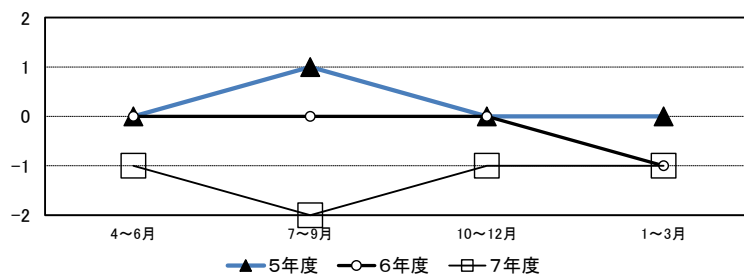
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2:多い
1:やや多い
0:変わらない
-1:やや少ない
-2:少ない



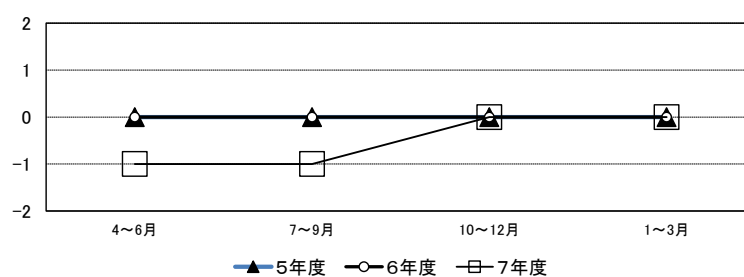
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2:多い
1:やや多い
0:変わらない
-1:やや少ない
-2:少ない



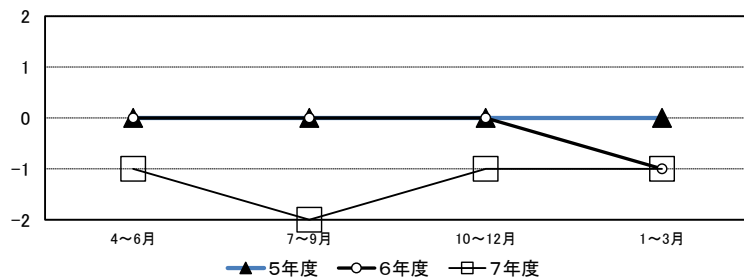
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2:多い
1:やや多い
0:変わらない
-1:やや少ない
-2:少ない

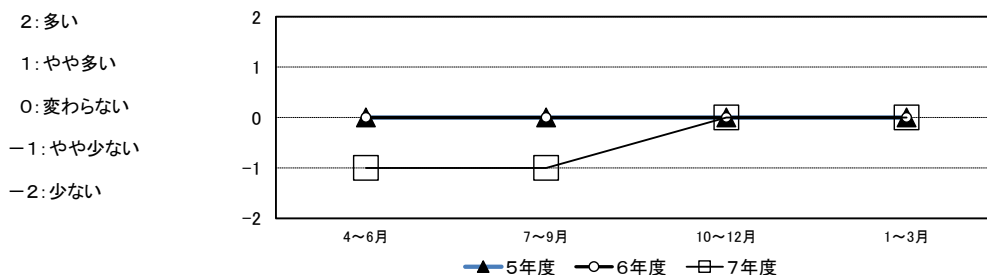


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

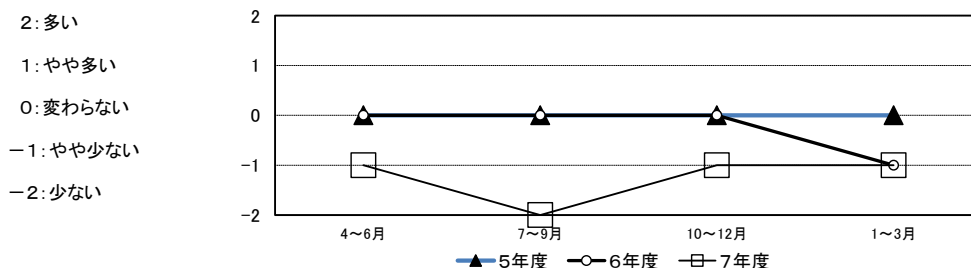
- 2:多い
1:やや多い
0:変わらない
-1:やや少ない
-2:少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和7年10～12月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和7年1～3月)との比較では、売上高、生産量、収益ともやや少ない。

従来、この四半期においては、かばん産業では、繁忙期であり、どの企業も忙しいが、近年は二極化して忙しい企業とそうでない企業とに分かれる。石油関連商品や生活必需品の高騰により、鞆の消費購買力が落ち込み続けており、購買力の不調傾向が続いている。鞆製造については、受注が減り、一般OEMや地域ブランド「豊岡鞆」の割合を増やし、経営収益の高い分野へ変更する企業も増えている。大手OEMに頼っている企業は、大手OEM先が上代(販売価格)を上げ、高級化をめざし、販売量が少なくても利益増が生じる体制に変化してきた。OEMの量が少なくなり、掛け率は同じで生産量が少なくなり、厳しい経営状況が続く。小さな企業では、従業員を雇わず、受注を減らし、家族経営で規模縮小の企業や合併廃業の企業も増えている。

地域登録商標のブランド「豊岡鞆」も新規店舗を展開しているが、知名度のない関東、北陸では、非常に厳しい状況である。広島、姫路、大阪などもやや落ち込んでおり、販売目標の70%～80%の売上である。なお、東京ではインバウンドのお客が徐々に増え、増加の傾向もでてきた。一部、ランドセルの販売予約も始まりだしており、比較的順調な店舗もある。

豊岡鞆協会 回答

6 主要業種の概況

旅客運送業	大阪・関西万博ツアーが好調の影響もあり、今年度の売上は上昇している。また、収益性の高いツアーや貸切バス等を運用することで売上・利益ともに上昇している。 今年度は2名の方を中途採用した。定期的にイベント等で採用活動を行い、イベントがきっかけで採用に至った人が数名いる。しかし、採用者数よりも退職者数の方が多く、運転手や工員、事務職等のすべての業種で人手不足であるのが現状。 半導体等が不足している影響で、バスの納期が以前より伸び、1年以上かかるようになった。
水産食品製造業	近頃は、県内のみならず県外から原材料の調達を行っているが、価格は従来の3倍ほどとなり価格転嫁が難しい状況もあり、景況感は良くない。また、消費者の購買動態の変化に伴い、贈り物文化が減ったことも影響し、買い渋りが起きている。 しかし、京都ではインバウンドの影響もあり好調傾向にある。 県内の同業者だけではなく海外、県外からの情報を集めることで時代の流れに対応している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年1月)」より

銀行業	事業者の融資状況の見通しは、当該銀行の所在地域全体でみると増加傾向にあるが、但馬地域においては減少傾向にある。 観光業は万博の影響もあり落ち込んだが、中国人観光客の減少が及ぼす影響は、現時点では限定的にとどまっている。 来年度も予定通りの人数を採用する予定であり、出身地も兵庫、大阪の2県が大半を占めている。
金属製品製造業	景況感はさほど良くない。昨年度と比較して売上は上昇しているが、利益は減少している。 今年度の設備投資計画については、前年度並みで省エネ設備の導入を行った。 近頃、材料の調達会社の変更があったものの、原材料価格の動向についてはほとんど影響が生じていない状況。 来年度の採用状況については、昨年度と比較してほぼ同数の方の採用を予定している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年2月)」より

宿泊業	景況感は例年通り。万博が10月に終了し、外国人観光客は客足が戻りつつある一方で、日本人観光客はあまり戻ってきていない印象。 来年度は、昨年度より増加の4名を採用する予定。しかし、依然として人員不足が続いており、全ての客室を稼働することができていない状況。 肉類や野菜、加工品等は全て価格が高騰しているが、調達状況に変化はない。
一般土木建築工事業	景況感はさほど良くないが、イラン情勢の影響もあり、今後の景況感は悪くなる見通し。 AIを積極的に活用し、重機の運転補助などによる生産性向上に寄与している。 原材料は生コンクリートや、照明器具等も半導体不足の影響で価格高騰が生じている。 来年度は約5名を採用予定。大卒、高卒ともに採用予定でありここ数年は但馬出身の方を多く採用することができている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年3月)」より